

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292700067		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート天王台		
所在地	千葉県我孫子市柴崎台3-9-19		
自己評価作成日	平成26年1月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成26年2月10日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

社にはある「お客様、ご家族、地域の健やかな暮らしに貢献する」という言葉を念頭に、職員一同が日々行動できるよう努めている。
お客様が出来ることは自分でしていただけるようなケアを心掛け、また、お客様と一緒に過ごさせていただく時間を大切にしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「あなたの心を感じられる私たちがよう。そして、みんなのもう一つの我が家を作ろう」を事業所のスローガンとして掲げ、その実現に向け一丸となり取り組んでいる。今年度は、外出に出かける機会を増やし、利用者に食べたい物を伺い外出に出かけたり、おやつを近隣のレストランで楽しむ等、生活の活性化に向け取り組んでいる。また、食事の準備や後片付け、事業所の庭の掃除など、利用者のできる事や得意なことを引き出し、利用者に役割を持って頂き、様々な作業に関わることができるよう支援している。今後に向けても、生活への参加に関わることができるよう、利用者の得意なことを引き出しながら支援していくことを目標としている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念は職員に周知している。日々の業務で理念が実践できるよう努めている。	法人の社是として「お客様・ご家族・地域の健やかな暮らしに貢献する」を掲げ、事業所スローガンとして「あなたの心を感じられる私たちがでいよう。そして、みんなのもう一つの我が家を作ろう」を掲げている。毎月の会議において確認し、その理念を共有している。	法人の社是やホームのスローガンについて、再度職員に周知し、全職員の理解が深まっていく事に期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣小学校との交流。職場体験の受け入れや学校行事への参加(運動会や合唱際)。	外出の際に近隣住民と挨拶を交わしたり、小学生の職場体験の受け入れや小学校の行事(運動会、合唱祭)、大学文化祭や自治会夏祭りに参加して、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるように支援している。	地域とのつながりは深まってきているが、事業所の行事に、地域の方をお招きする等、地域住民との交流がより深まっていく事に期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護が必要とされる地域の方々にとって選択肢の一つとなれるように今後も事業内容の周知を行っていきたい。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1回実施している。ご家族様にも参加していただき、現状のサービスに対する率直な意見を頂いている。	運営推進会議は利用者家族、近隣小学校校長、民生委員、地域包括支援センター、提携医療機関、市の担当者の参加を受け、2か月に一度定期的に開催している。会議では、活動状況、行事報告、質疑応答等を通じ参加者との意見交換を行っている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を中心とした民生委員、地域包括支援センター職員との関わり。	市担当者とは、運営にあたっての疑問や相談ごとがあれば連絡を取り指導を仰いでいる。施設の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝え、介護予防教室(毎週水曜日)の実施を通して市と連携を深めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修にて身体拘束・虐待に関する知識の習得に努めている。玄関の施錠について、現在開錠は行っていない。	管理者が身体拘束の研修や講習を受け、内部研修を通して職員に周知し、身体拘束廃止についての意識を高めている。玄関は安全を期してオートロック式を採用しているが、身体拘束の事例は発生していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	社内研修にて身体拘束・虐待に関する知識の習得に努めている。		

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内外の研修を通じて、自己研鑽していきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は丁寧に説明することを心がけ、ご家族様の理解を得られるよう注意している。 また、契約締結後も気になる点があれば連絡いただくようお願いをしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様が来られた際にはこちらから話しかけ、意見を聞くよう努めている。 また、アンケートの配布により、意見しやすい機会を作っている。	法人独自の顧客満足度調査を年1回実施し、家族からの意見、要望を収集している。また来訪時(運営推進会への出席、イベントの開催)、電話連絡時、ケアプラン説明時に意見、要望を聞く機会を設けそれらを運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回、拠点会議を実施し、意見交換の場を設けている。また、朝、夕の申し送りはちょっとした意見や提案を聞く場となっている。	管理者は年2回職員と個人面談を実施するほか、日常的にも管理者やケアマネージャーを中心に職員に声をかけるようにしている。また会議後、運営に関する意見交換を実施し、それらの意見を吟味して運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談の実施により、個々の相談や今後の展望などを聞くようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	拠点会議の際に研修を行い、知識を習得する機会になるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の地域密着型事業者との連絡会に参加し、他拠点の事例検討や意見交換の場としてサービスの質向上に努めている。		

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期には特に注意を払い、ご本人様の状況確認や体調・心理面での変化の把握に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期にはこまめにご家族様と連絡を取り、ご本人様の様子を伝えるようにしている。また、何か不安なことや要望があれば率直に言っていただけるよう声を掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談やそのときの様子に応じて、福祉用具の提案や介護方法についてもお伝えするようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食器洗いやテーブル拭きなど、可能な範囲で職員と共に家事の手伝いをしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が来所された際には職員もきちんと挨拶を行い、ご本人様の状態をお話したり、ご家族様からお話を伺うことでご本人様を支える関係を構築している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人様と知人の面会に関してはご家族様に了承を得て、出来るだけ行うように努めている。 ご家族様の協力の中で外出等も行っている。	これまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないような支援では、家族の確認や協力を得て友人の来訪や馴染みの場所へ出かけるなど関係性の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	新規のご利用の際には特に注意してご本人様が孤立しないよう、職員がこまめに声をかけるようにしている。また、お客様同士が関われるよう、食堂の席の配置などは随時見直すようにしている。		

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も何か困ったことがあれば連絡いただけるようお話はさせていただいている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	散歩が好きな方、書道が好きな方等、趣向が少しでも反映できるよう、ご本人の意思の把握に努めている。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握は、日常会話での収集のほか、ケアプラン作成時のアセスメント時に確認している。把握が困難な場合は、家族の協力を得ながら本人本位に検討し、日々の支援に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職歴や生活歴等を出来る限り把握し、特に新規のご利用があった際には拠点会議等を通じて職員全体で把握するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々お客様の状態は観察し、小さな気づきでも申し送りなどを通じて把握するよう努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的に見直し、職員やご家族様より何か意見があれば反映できるようにしている。	アセスメントにおいて利用者の現状や課題を収集し、担当者会議において職員からの意見を収集しケアプランを作成している。ケアプランは家族に説明し同意を得ているほか、毎月のモニタリングにおいて利用者の満足度、プランの達成状況を確認している。	今後に向けては、担当者会議に主治医の意見についても盛り込み、他職種連携で進めていける事に期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	変化や気づき等は記録に残すようにしており、申し送りと合わせて職員間で情報共有を図るようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々の状況に応じて、柔軟な対応を心掛けるようにしています。		

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の小学校とは定期的な交流がある。民生委員とは運営推進会議のみの交流となっているため、今後、もっと連携していきたい。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	まずはご本人様、ご家族様に意向を確認し、納得した上で利用していただいている。	利用者が適切な医療を受けられるように提携先医療機関による往診のほか、担当医とは24時間連絡体制を築き、緊急時や状態変化時において迅速な対応が図れる体制を整えている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々のお客様の状況を確認してもらい、必要に応じて対応策を伝えてもらっている。その情報は往診医にも伝え、連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際、ソーシャルワーカーと連携し、状況の把握に努める。また、主治医やご本人様、ご家族様からも話を伺い、情報交換を行うようにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様、主治医と連携を取り、その都度状況に合わせた対応を心掛ける。また、職員も情報共有し、状況の把握に努める。	重度化や終末期に向けた方針については早い段階から事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、重度化や終末期をむかえた際には、家族や主治医と連携を深め今後の支援方針を検討することとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	「緊急時対応マニュアル」があり、閲覧が自由であることを職員には周知している。また、拠点会議の際に事例検討を行うなどしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非難訓練は実施している。地域との協力体制については確立できておらず、訓練の際には継続してお誘いしていきたい。	消防署と連携で消火訓練、通報訓練、避難訓練を実施している。災害に備え、飲料水、コンロ、ラジオを備蓄している。避難訓練実施の際は近隣に通知をしているが、日中は不在者が多いので近隣との連携が課題となっている。	火災や地震に備えた取り組みは実施できているが、今後に向けては事業所周辺の水害の状況等についても把握されることに期待したい。

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職業倫理についての研修を実施し、お客様の人格を尊重することの大切さは伝えている。また、言葉遣いに関してはお客様一人ひとりに対して尊厳を損なわないよう対応している。	利用者に対して適切な対応が図れるように、職業倫理研修を実施し、職員の意識を高めている。日々の支援では、利用者一人ひとりの特性に応じたコミュニケーションを図り、不適切な対応につながらないように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけお客様の希望を尊重し、柔軟に対応するように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけお客様の希望を尊重し、柔軟に対応するように努めている。また、職員本位のケアにならないよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容を利用していただいている。お客様によっては職員と一緒に買い物に行き、好みの洋服を選んでもらっている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様の能力に応じておしぼりたたみや食器拭き等を行っていただいている。	食事の準備では、テーブル拭きや、後片付け等利用者の状態を考慮しながら、職員と一緒に食事の準備や片付けを進めている。食事を楽しむ工夫では、外食に出かけたり、行事食やおやつを皆で一緒に作り、食事の楽しみにつなげている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事毎に食事量、水分量を記録し、状況把握出来るようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事ごとに行っている。 毎週、訪問歯科を実施し、口腔ケアや義歯の点検を行っている。		

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを記録し、随時トイレ誘導やおむつ交換を行っている。	利用者の排泄パターンを排泄チェック表や個人日誌に記録し、職員間で共有している。排泄の支援では、定時の声かけや誘導により、トイレで排泄できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を作成し、便の状態、量等を記録している。場合によっては医療機関に相談し、指示を仰ぐ。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々人の気分や体調によって左右されることがあるので臨機応変に対応している。	入浴は、一人ひとりの体調やタイミングに合わせて、週2～3回入浴できるように支援している。入浴中は職員が介助につき、転倒等事故につながらな様に、安全面に十分配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様の気持ちを優先し、昼寝や休息をとっていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬に変更があればその都度申し送りにて連絡している。 薬を出す際、服薬の際は2名でダブルチェックを行い、誤訳防止を徹底している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	買い物はお客様と行くようにし、お散歩やボランティアの書道など、個々にやりたいことに参加していただけるようにしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	外食や買い物における外出、定期的なドライブなどを実施している。	天気の良い日にはホーム周辺の散歩や買い物に出かけ、また毎月1回外出行事を企画し、社用車を利用したドライブ、初詣、プラネタリウム、花見、紅葉散策や花火鑑賞など利用者の希望も踏まえながら、戸外に出かけられるよう支援している。	

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の管理は事務所でやっている。ご本人様から使用したいとおっしゃる際にはお渡しし、職員と買い物に出かけられる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様から電話や手紙の要望があった際にはその都度対応している。 お客様によってはご家族様より定期的に連絡がある。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節や行事に合わせて装飾をしている。居室、共用部の温度管理に関しては昼夜を問わず、確認をお願いしている。	共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせ装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファ等を活用している。 お客様同士、または職員とお話される等、思い思いに過ごしていただいている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様にお伝えし、慣れ親しんだものをお持ちいただくようにしている。	居室は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものを活かして、ご利用者様が居心地よく過ごせるように職員が整理整頓に努めるなど支援をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様一人ひとりのペースに合わせた支援を心掛けている。また、一人ひとりの残存機能の把握に努めている。		